

「革新的新産業創出ワークショップ」のご案内
「リチウムイオン電池の社会実用化に迫る」

参加費無料

電気自動車やハイブリッド自動車の性能向上を直接支えているのはリチウムイオン電池の技術開発です。また、太陽電池との組合せで分散型電力装置実現にも貢献しています。

そこで、リチウムイオン電池に的を絞って、(1) 企業の立場から製品開発やビジネスチャンス開拓を、(2) 公設試験研究機関から近い将来の実現を目指す実用化研究の動向について、さらに(3) 大学からはロングレンジの材料研究動向を講演して頂きます。

加えて、光技術の異分野交流の観点から、新しい光であるテラヘルツ光を用いた新型顕微鏡の電極評価へのアプローチについて岡山大学から講演します。

リチウムイオン電池のビジネスチャンスを模索する絶好の機会ですから、奮ってご参加下さい。

1. 開催日時：平成 26 年 3 月 24 日（月）13:00～17:10

2. 開催場所：岡山ロイヤルホテル

〒700-0028 岡山県岡山市北区絵図町 2-4, TEL：086-255-1111

3. 参加対象等：県内ものづくり企業など、どなたでも参加できます。

募集人員：約 40 名。参加費：無料。参加申込締切：3 月 17 日（月）。

4. プログラム

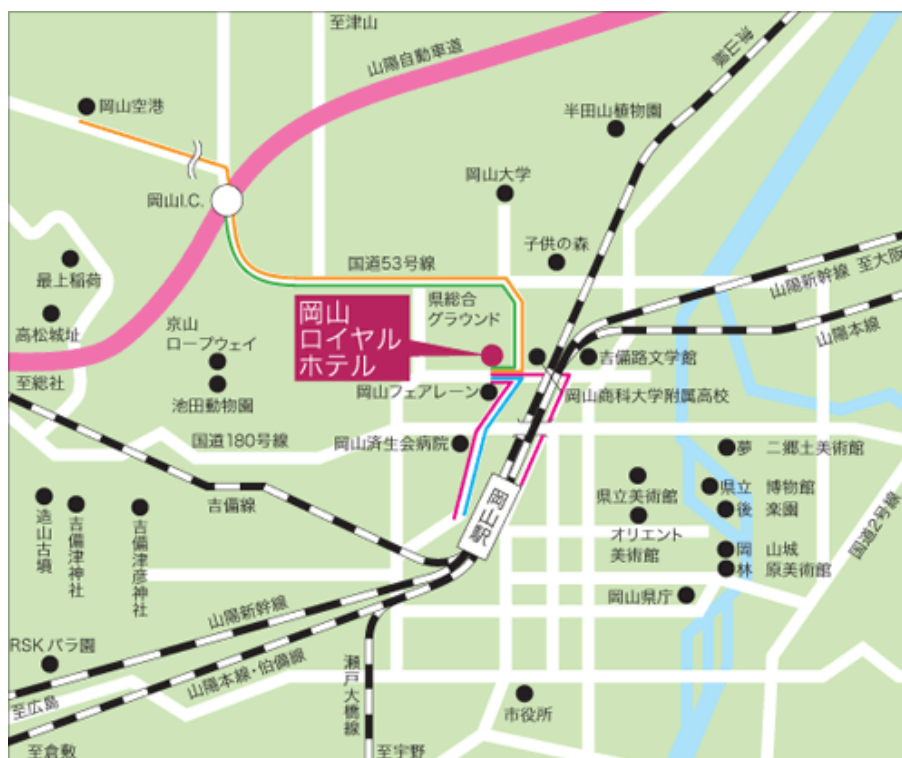
時刻	演題・講師・講演概要
13:00～13:05	開会挨拶
13:05～13:50 講演 1	演題：エネルギー密度の限界に迫るリチウムイオン電池と今後の開発トレンド 講師：日立マクセル（株） 開発本部 技術開発部 主管 上田 篤司 氏 概要：近年、リチウムイオン電池はエネルギー密度の限界に近づきつつある。その基盤技術とともに、新たな潮流の下で進めている技術開発の一端を紹介する。
13:50～14:35 講演 2	演題：パナソニックにおけるリチウムイオン電池開発の現状と将来動向 講師：パナソニック（株） オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社 技術本部 エナジー開発 C 技術企画 G 主事 最相 圭司（さいしょう）氏 概要：来るべき新エネルギー社会の実現に向け、パナソニックでのリチウムイオン電池及び搭載商品の開発動向と、次世代電池開発に関して報告する。
14:35～14:50	休憩
14:50～15:35 講演 3	演題：リチウムイオン電池の更なる高エネルギー密度化を目指した電極材料の開発 講師：(独) 産業技術総合研究所 関西センター ユビキタスエネルギー研究部門 副研究部門長 辰巳 国昭 氏 概要：エネルギー密度の向上を目指した Li 過剰系酸化物正極や Si 系負極、ポスト LIB 用硫化物系正極等の開発動向について、我々の取組に触れつつ紹介する。
15:35～16:20 講演 4	演題：Li イオン電池材料を原子スケールで探る 講師：東北大学 原子分子材料科学高等研究機構 (AIMR) 准教授 一杉 太郎 氏 概要：Li イオン電池材料を原子スケールの空間分解能で探る研究を紹介する。さらに、電池材料同士が接する界面で何が起きているのかを明らかにしていく。
16:20～16:50 講演 5	演題：テラヘルツ波ケミカル顕微鏡－電極材料評価へ向けて 講師：岡山大学 大学院自然科学研究科（工学系） 准教授 紀和 利彦 氏 概要：テラヘルツ波を用いて化学反応分布を可視化する顕微鏡を開発している。本講演では、特に電極材料評価へ向けた応用展開の取り組みについて解説する。

16:50～17:05	新産業創出への対話
17:05～17:10	総括・閉会挨拶（岡山大学学長特命（研究担当）・リサーチアドミニストレーター 佐藤 法仁 氏）

5. 共同主催：岡山県工業技術センター，（公財）岡山県産業振興財団，岡山リサーチパーク・インキュベーションセンター，岡山大学産学官融合センター，岡山大学 URA 執務室

6. 後援：おかやま電池関連技術研究会，岡山大学産学官融合センター研究協力会

【アクセスマップ】



「革新的新産業創出ワークショップ」のご案内
「リチウムイオン電池の社会実用化に迫る」 参加申込用紙

氏名（ふりがな）	
勤務先	
所属部署 （職名）	
所在地	〒
TEL	
FAX	
E-mail	

お問い合わせ・お申込み先（事務局） 締切3/17月
岡山大学 産学官融合センター
TEL：086-286-8002 FAX：086-286-8007
E-mail：center@crc.okayama-u.ac.jp

本ワークショップは，岡山大学が採択されている文部科学省の COI STREAM「大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業（イノベーション対話促進プログラム）」の一環で実施されます。